

齐家論を読んで

安藤瑞基

石田梅岩とは貞享（じょうきょう）2年9月15日（1685年10月12日） - 延享（えんきょう）元年9月24日（1744年10月29日）は江戸時代の思想家、倫理学者。石門（せきもん）心学の開祖。

1724年ごろ、石門心学と呼ばれる独自の哲学を樹立し、1729年（享保14年）45歳で自宅に講席を設け、生涯を布教に努めた。梅岩の講義は受講に際して紹介が一切不要、かつ性別も問わない無料の講座であった。主な著書に『都鄙問答（とひもんどう）』『儉約齐家論』がある。

齐家論（上）を読んで石田梅岩は何を伝えたかったのかを読み解いて、スライドにわかりやすく作成しました。